令和4年12月分フォローアップにおける先進事例①

自治体において、積極的な申請促進及び交付体制整備の実施、また、マイナンバーカードの利活用シーン拡大により、住民の利便性が向上し、既存窓口の混雑も緩和。

[∕] ○積極的な申請促進及び交付体制整備 _{概要} (岐阜県岐阜市)

- ▶ 市内約50箇所の公民館や学校、企業、商業施設・介護施設等への出張申請受付を積極的に実施。申請時に本人確認を行い、交付は原則、本人限定受取郵便等で送付することにより、住民の利便性が向上。
- ▶ また、本庁窓口における本人確認と統合端末操作以外の 交付関連事務を事業者委託し、休日・平日夜間開庁も 積極的に実施するなど、交付体制を整備。加えて、交付は 本庁市民課及び7つの事務所に分散して実施し、事務所 における会計年度任用職員を今年度から増員して対応。 これらの取組により、J-LISからカードが届いてから1週間以 内に交付通知書を発送。



出張申請の案内チラシ

出張申請受付のご案内

お住まいの地域以外の公民館でも申請できます

※対象 終皇市に住民登録があり

○利活用シーンの拡大(宮城県角田市)

概要

- ▶ 住民票などの証明書交付について、県内で初めてマイナン バーカードを使ったオンライン申請を12月から開始。手続は24時間365日可能で、証明書は最短で申請の翌日に 自宅に郵送。発行手数料はクレジットカード払いで、郵送 料は令和6年3月まで無料(速達料金などを除く)。
- ▶ また、マイナンバーカードを使った各種証明書のコンビニ交付 手数料も令和5年1月から令和6年3月まで10円に減額。



令和4年12月分フォローアップにおける先進事例②

自治体において、郵便局への申請サポート事務委託やリモートによる申請サポート事務委託により、サポート拠点を増やすことで、住民の利便性が向上し、既存窓口の混雑も緩和。

✓ 郵便局への申請サポート事務委託概要 (岡山県岡山市)

- ▶ 12月から市内全108箇所の郵便局において、申請サポート事業の業務委託契約を締結。
- ▶ 加えて、毎週末に委託業者による市内商業施設や公民館への出張申請サポート等を実施しており、サポート拠点を増加させることで、住民の利便性向上及び既存窓口の混雑緩和を実現。



申請サポートの様子



○リモートによる申請サポート事務委託 概要 (岩手県花巻市)

- ▶ 民間事業者に事務委託し、商業施設や公共施設において 申請サポートをリモートで実施。申請会場において申請者 にマイク付きヘッドホンを装着していただき、遠隔地からオペレーター(委託業者)がリモートで申請をサポート。感染 拡大防止にも効果的で、費用面でも効率的に事業を実施。
- ▶ 本事業については、朝刊の折込チラシで配布し、住民に対して積極的に周知。







令和4年12月分フォローアップにおける先進事例③

自治体において、全職員を動員した申請促進活動や申請キャンペーンの実施など、積極的な申請促進活動を実施し、以下のように大幅に申請件数が増加。

✓ 全職員を動員した申請促進活動概要 (和歌山県広川町)

- ▶ 幹部職員も含めた全職員を動員し、町内13ヶ所の公民館への出張申請サポートや11月・12月は取組重点期間とし、平日は午後7時まで開庁及び毎週土日・祝日開庁による申請受付・交付窓口を開設。年度末までのマイナンバーカード取得者には、10,000円分の商品券を配布。
- ▶ また、外出が困難な方に対しては、希望に応じて、個人宅へ赴き、申請サポートを実施。
- ▶ 11月の申請件数率の伸び22.89% (全国 1位)



○申請キャンペーンの実施(奈良県天川村)

概要

- ▼イナンバーカードの申請キャンペーンとして、以下の取組を 重点的に実施。①「天の川もみじまつり」に特設申請窓口 を設置、②各地区集会所へ巡回しての出張申請受付、 ③小中学校に出向いての申請サポート、④窓口に出向く のが困難な方については個別対応。
- ▶ また、11月末日までに申請いただいた方には、村の物価高騰対策等特別給付金を5,000円増額給付。
- ▶ 11月の申請件数率の伸び19.50%(全国 2 位)

マイナンバーカード等のお問い合わせは、住民課まで



出張申請の様子



広報紙で周知

令和4年12月分フォローアップにおける先進事例④

自治体において、商業施設や個人宅への出張申請受付、休日・夜間開庁の実施など、以下のように積極的な申請促進及び交付体制整備を実施。

○商業施設への出張申請受付

概要

(鹿児島県志布志市)

- ▶ 毎週日曜日に商業施設での出張申請受付を実施。詳細は、各戸に設置している行政告知放送端末の活用や広報 チラシの全戸配布等により、積極的に周知。11月末日までに申請いただいた方には「マイナ志(こころざし)券」(地域振興券) 10,000円分を配布。
- ▶ また、11月は月に1度、休日開庁及び夜間開庁を実施し、 12月からは毎週実施に拡充するなど、交付体制も整備。
- ▶ 11月の申請件数率の伸び11.76% (市区における全国1位)
 11月の交付枚数率の伸び12.56% (市区における全国1位)







○個人宅への出張申請受付

概要

(北海道蘭越町)

- ▶ 10月から全職員を動員し、戸別にチラシ配布するなどマイナンバーカード未取得者に対する積極的な取得勧奨を行い、本町の40%を超える高齢化率を鑑み、希望者に対しては、個人宅への出張申請受付を実施。申請時に本人確認を行うので、カードは本人限定受取郵便で送付。年内に新規申請いただいた方には1,000円分の商品券を配布。
- ▶ また、平日19時30分まで夜間開庁、毎週土曜日に休日 開庁を実施し、交付体制も整備。
- ▶ 10月の申請件数率の伸び18.98%(全国1位) 11月の交付枚数率の伸び17.86%(全国1位)



出張申請の様子



令和4年12月分フォローアップにおける先進事例⑤

マイナンバーカードの交付主体は市区町村であるが、都道府県においても、申請促進のため以下のような取組を実施。

○県独自の自治体マイナポイント(大分県)

概要

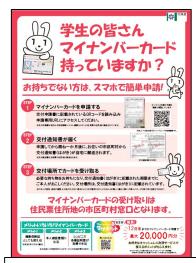
- ▶「自治体マイナポイント」の基盤を活用し、県の各種施策でインセンティブとなるポイントを付与する制度を開始。令和4年度は次の3事業で実施。
- ▶ 健康アプリ「おおいた歩得」を新規ダウンロードし、一定歩数を達成した者にポイントを付与する「おおいた歩得利用促進事業」。小規模集落でのボランティア活動への参加者にポイントを付与する「小規模集落応援隊参加促進事業」。県への行政手続のオンライン申請に改善意見を出した者にポイントを付与する「電子申請改善事業」が対象。



○学生に向けたカード取得促進(北海道)

概要

- ▶ カードの申請方法を記載したチラシ (留学生向けの外国語版 (英語、ハングル、中国語簡体・繁体)を含む)を作成し、道内200超の大学、短大、各種学校等に対し、校内で活用しているSNS等の連絡手段を通じて、各学生に向けて周知いただくよう協力を依頼。(カードの安全性に関するパンフレットも併せて送付。)
- ▶ 本取組を道内の市町村にも周知し、大学、短大、各種学校等へ積極的に出張申請受付を実施するよう要請。



申請方法を記載したチラシ

